

★～ボランティアによる閉じこもり予防・認知症予防の対策～★



地域の方をボランティアとして養成し、その方たちが中心になって高齢者にとって身近な場所で介護予防事業を行っています。高齢者の閉じこもり予防・認知症予防を目的に、それぞれの力を発揮して、「ふれあいの場所」「笑顔で元気な場所」作りをしています。



ボランティアの養成・育成・フォローアップ

サロンボランティア養成講座

地域ふれあい食事会

- ・月4回あるいは2回開催
- 地域の障害者施設や、高齢者活動センターにて開催(2会場で11時～13時まで)
- ・昼食を提供し、交流の場所として活用。料金は¥300～¥450
- ・喫茶サロンとして、仲間と茶話会交流(¥150)

ふれあいサロン

- ・概ね月1回開催(22会場)
- ・地域の公民館や集会所にて開催。有志の個人宅もあり
- ・参加費：¥100～¥200
- ・レクリエーション・健康体操、茶話会等を行う
- ・男性のためのサロン
- ・音楽療法を取り入れた歌声サロン、そばうちサロン

介護予防教室

- ・週1回(5会場)または隔週1回(2会場)開催
- ・老人憩の家や公共施設で開催
- ・参加費：¥200
- ・回想法、脳トレーニング、作品作り、健康体操、茶話会等を行う
- ・送迎サービスを導入している会場がある(4会場)

傾聴ボランティア養成講座

ボランティア登録

- ・傾聴希望者に派遣

- ・高齢者の自宅・公共施設などで傾聴し、支援
- 登録者数：47名(H24)
(うち28名が活動中)

認知症サポーター養成講座

受講した方におたがいさまねっと(高齢者支援サポーター)として登録勧奨
・おたがいさまねっと通信の発行(年2回)・研修会への誘い

おたがいさまねっと登録者数 849名(H25年4月)
一部の方が、ゴミ出しの援助等、地域で活動をしている
地域で困っている高齢者を見かけたら、出来る範囲で見守りや声かけを行っている。

健康づくりリーダー登録研修

(愛知県健康づくり振興事業団が開催)
・研修参加される方に参加のための交通費を補助(H22から実施)
・健康づくりリーダーに登録された方にフォローアップ研修の開催(H25から実施)

転倒予防教室を主目的とした健康づくり教室の、事後グループの指導員として活躍
健康体操グループ数 31グループ(H24年)

北名古屋市は地域の方たちが、力を発揮して「閉じこもり」や「孤立」をなくして、誰もが安心して暮らせる町づくりをめざしています。認知症サポーター養成講座は、地域の銀行・郵便局や小学校・中学校でも行っています。小さな力も後々は大きな力となってくれるでしょう。ボランティアの方々の「力」と「優しさ」が地域をまもり、誰もが、安心・安全な町で笑顔で暮らせるよう活動の根を伸ばしています。





(愛知県)

地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例（様式）

① 区町村名	北名古屋市
② 口（※1）	82,976人 ()
③ 高齢化率（※1） (65歳以上、75歳以上それぞれについて記載)	65歳以上 21.79% () 75歳以上 8.38%
① 取組の概要	北名古屋市では、地域の方をボランティアとして養成し、その方たちが中心になって、高齢者にとって身近な場所（地域）で活動していただいている。
⑤ 取組の特徴	北名古屋市では、地域で活躍するボランティアを養成・育成を行い、さらにスキルアップを図ってもらうために、各種フォローアップ研修を行っている。
⑥ 開始年度	平成19年度より開始され、その後それぞれの分野で、増えて現在に至る。
⑦ 取組のこれまでの経緯	北名古屋市では、サロンボランティア養成講座(H20開始)をはじめ、傾聴ボランティア養成講座(H22開始)、認知症サポーター養成講座(H19年開始)を開催している。受講後は、サロンボランティアは、地域サロンの世話人として活躍している。また、傾聴ボランティアは、ボランティア登録後、市から派遣され、傾聴希望者の自宅や公共施設等で傾聴し心の支援を行っている。認知症サポーターは、養成講座の受講後、おたがいさまねっと(高齢者支援サポーター)として登録し、地域で困っている高齢者の見守りや声かけを行っている。健康づくりリーダーは、市が研修参加のための交通費を補助することにより、参加者を募り、受講後は健康づくりリーダーに登録し、市が開催した転倒予防を目的とした教室の、卒後グループの指導員として活躍している。
⑧ 主な利用者と人数	概ね65歳以上の方が対象。
⑨ 取組の実施主体及び関連する団体・組織	市民参加型非営利団体、地域で活躍されている個人ボランティア、ボランティア団体。
⑩ 市区町村の関与（支援等）（※2）	地域支援事業 介護予防事業費 委託料を予算化（H25年度：4,245,400円）
⑪ 国・都道府県の関与（支援等）（※3）	なし
⑫ 取組の課題	ボランティアスタッフそのものが高齢化になっているが、それに代わる若い世代の後継者がなかなか育たない。（その世代は、勤労している人が多いためか）
⑬ 今後の取組予定	地域的に、サロンのない地区があるので、1地区1か所のサロンを作り、地域の方々が年齢を問わず集まって世代間交流ができ、地域で地域の人たちを見守っていけるような取り組みをしていく。
⑭ その他	
⑮ 担当部署及び連絡先	北名古屋市役所 高齢福祉課 介護予防担当 0568-22-1111（内線3135）

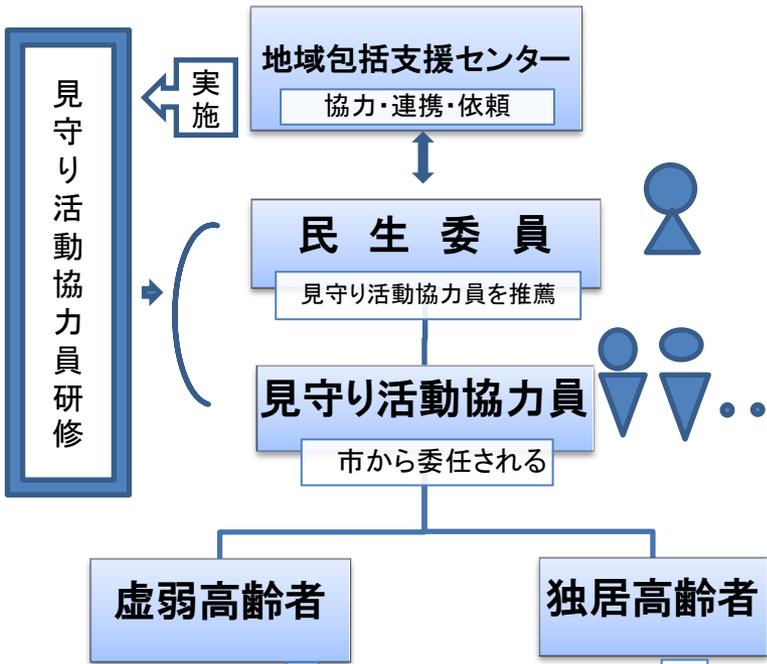
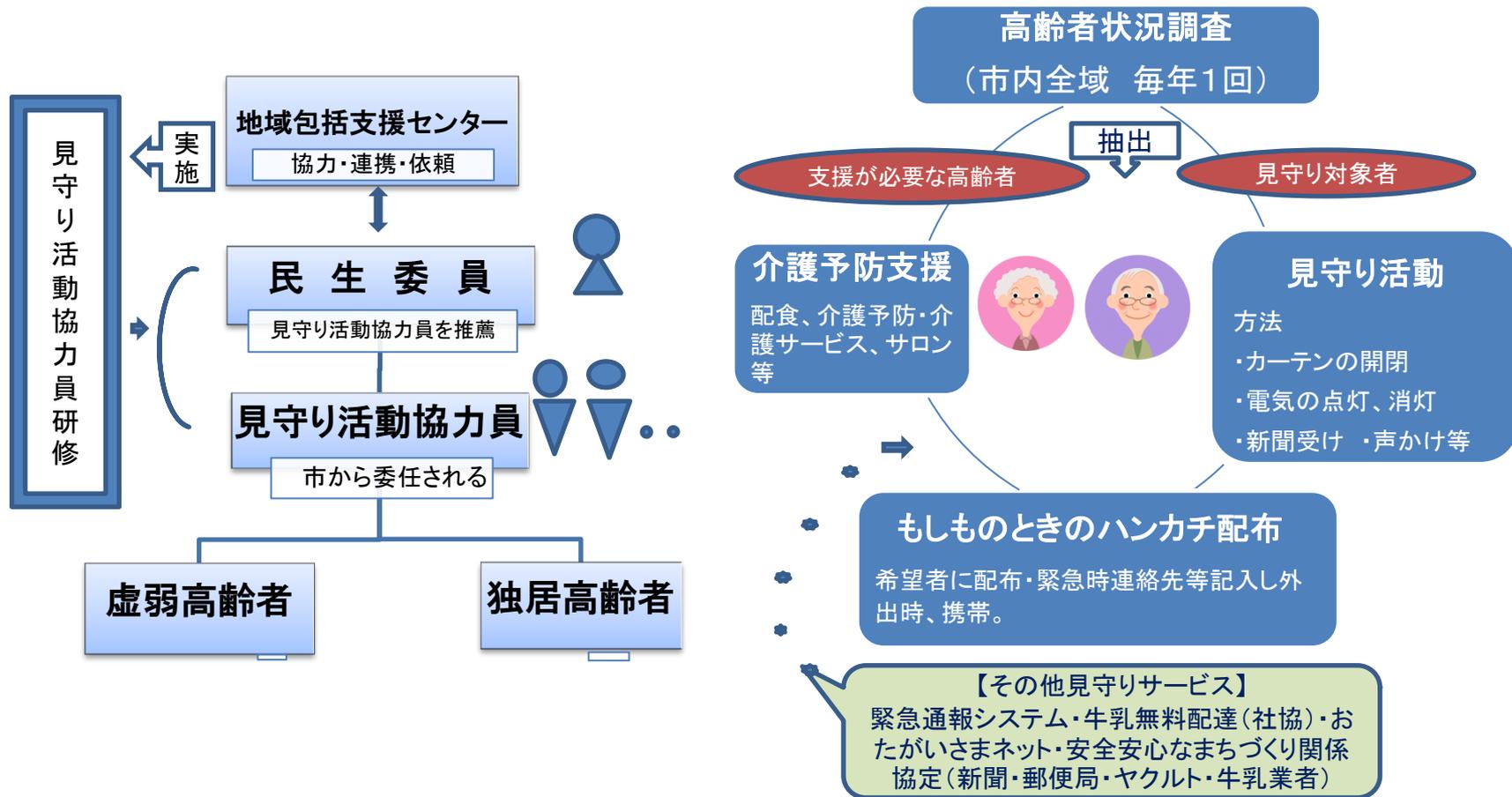
- ※1 一部地域に限定した実施の場合は、当該地域の人口・高齢化率を()内に記載してください。
- ※2 市町村から財政的支援が行われている場合には予算額等を含めて記載ください。
- ※3 国や都道府県から財政的支援を受けている場合は、補助金や交付金等の名称、額等を含めて記載ください。





住み慣れた地域で安心して暮らせる高齢者見守り活動(北名古屋市)

- 民生委員活動と協働し、市内全域のひとり暮らし高齢者・高齢者のみの世帯を中心に毎年「高齢者状況調査」を実施し、支援を必要とする高齢者の把握を行い、早期から支援することにより重症化を防ぐ。
- 調査により見守りが必要な高齢者を抽出し、安否確認を日常的に行うとともに異常等を発見したときに地域包括支援センターに通報し迅速に対応できる体制の整備。



もしものときのハンカチ配布
希望者に配布・緊急時連絡先等記入し外出時、携帯。

【その他見守りサービス】
緊急通報システム・牛乳無料配達(社協)・おたがいさまネット・安全安心なまちづくり関係協定(新聞・郵便局・ヤクルト・牛乳業者)





(愛知県)

地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例（様式）

①□区町村名	北名古屋市
②人口（※1）	82,976人 ()
③高齢化率（※1） (65歳以上、75歳以上それぞれについて記載)	65歳以上 21.79% () 75歳以上 8.38%
① 取組の概要	毎年1回、民生委員による「高齢者状況調査」を実施し、支援を必要とする高齢者の把握を行う。(対象者の情報は、市が提供)調査結果に基づき問題ケースは包括につなぎ、見守りが必要な高齢者には見守り協力員による見守り活動を実施している。見守り協力員は、民生委員が推薦し市長が委任している。
⑤取組の特徴	民生委員活動と協働し、地域の要援護を必要とする高齢者の状況を把握し、介護予防や介護サービスの導入など早期に関与することで重症化を防ぐ。また、高齢者の安否確認を日常的に行うことで異常等を発見した時に迅速に対応できる体制を確保する。
⑥開始年度	平成21年度から
⑦取組のこれまでの経緯	以前から社会福祉協議会による見守り活動を行っていたが、地域包括支援センターに業務を引き継ぎ、高齢者状況調査とリンクし迅速なケース対応をとれるよう体制整備を行う。
⑧主な利用者と人数	高齢者状況調査 : 17,868世帯(概ね65歳以上) 見守り対象者 : 1,014人 見守り協力員数 : 294人
⑨取組の実施主体及び関連する団体・組織	実施主体 : 市 民生委員協議会に委託
⑩市区町村の関与(支援等)(※2)	委託料 ① 高齢者状況調査 1,429,440円 (80円×17,868世帯) ② 見守り活動 1,352,000円 (1,014人÷3人×4,000円) *見守り協力員は、対象者概ね3人に1人の配置と要綱で示している
⑪国・都道府県の関与(支援等)(※3)	なし
⑫取組の課題	民生委員の任期が3年であるため、入れ替わることが多く、常に理解を促していく必要がある。
⑬今後の取組予定	見守り活動の研修会を行い、民生委員や見守り協力員の見守り活動のスキルアップを図っていく。
⑭その他	
⑮担当部署及び連絡先	北名古屋市福祉部高齢福祉課(地域包括支援センター) 0568-22-1111(内線3139)

※1 一部地域に限定した実施の場合は、当該地域の人口・高齢化率を()内に記載してください。

※2 市町村から財政的支援が行われている場合には予算額等を含めて記載ください。

※3 国や都道府県から財政的支援を受けている場合は、補助金や交付金等の名称、額等を含めて記載ください。

